



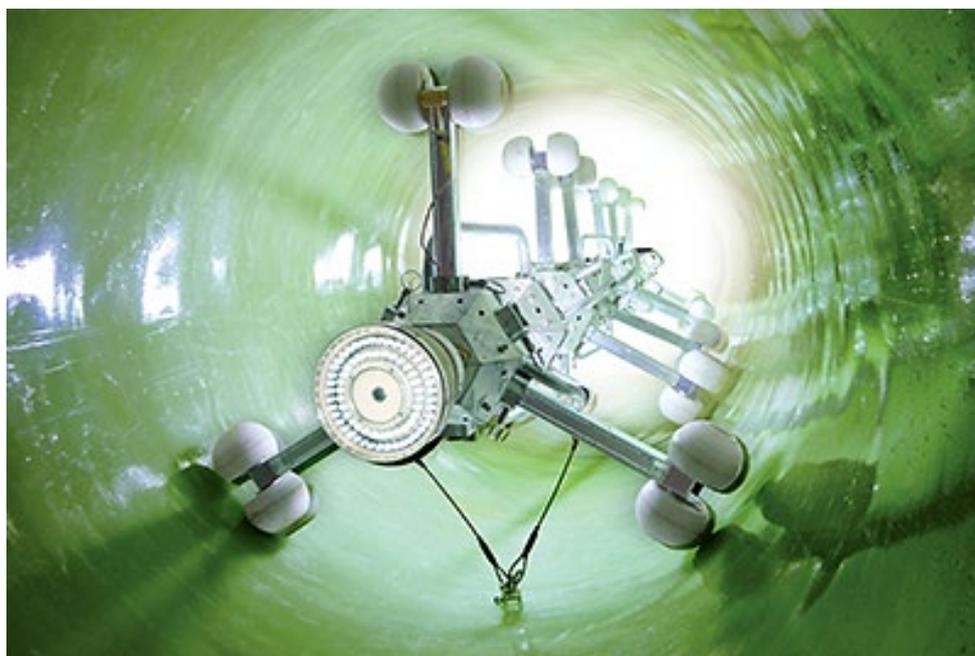
エコアクション21

認証番号 0013059

# 環境経営レポート

## 2023年度

(対象期間：2023年4月～2024年3月)



発行日：2024年 6月 3日

株式会社 テクノユース

## 目 次

1. 組織の概要	.....	p.1
2. 認証・登録の対象範囲	.....	p.2
3. 環境経営方針	.....	p.3
4. 環境経営目標	.....	p.4
5. 環境経営計画	.....	p.5
6. 環境経営計画に基づき実施した取組内容	.....	p.6
7. 環境経営目標の実績とその評価	.....	p.8
8. 環境経営計画の取組結果とその評価、 8-2 並びに次年度の環境経営計画	.....	p.9
9. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、 並びに違反、訴訟などの有無	.....	p.10
10. 代表者による全体の評価と見直し・指示	.....	p.11

# 1. 組織の概要

- 1) 事業所名 株式会社 テクノユース  
 代表者氏名 代表取締役 脇山 一春
- 2) 所在地 本 社 〒814-0103 福岡県福岡市城南区鳥飼5丁目7番1号  
 糸島事業所 〒819-1613 福岡県糸島市二丈松末1145-1
- 3) 環境管理責任者 古藤 安弘  
 担当者 古藤 安弘  
 連絡先 TEL 092-851-7839 FAX 092-851-7850  
 Eメールアドレス info@techno-y.co.jp
- 4) 事業の内容 土木工事業、とび・土工工事業 ……(特-5)第92311号  
 管工事業、防水工事業 ……(般-5)第92311号  
 産業廃棄物収集運搬業 ……福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県  
 下水道管路施設維持管理
- 5) 事業の規模 法人設立年月日 : 1998年4月1日  
 資本金 : 2000万円  
 総売上額 (2023年4月～2024年3月) : 1453百万円

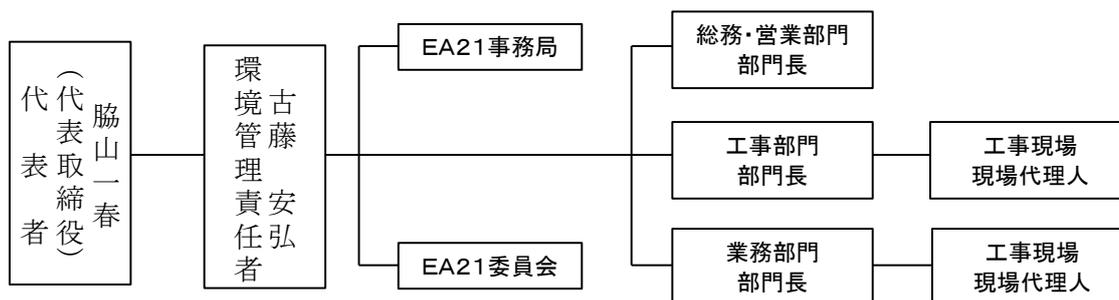
	単位	本社	事業所
従業員数	人	5	22
敷地面積	m <sup>2</sup>	39.6	4309.96

### <受託した廃棄物の処理量>

処理方法等	廃棄物等種類	2023年4月～2024年3月 処理量(t)
収集運搬	汚泥	793.1

- 6) 事業年度 4月～翌年3月

- 7) 組織図 EA21実施体制図



- 8) 許可の内容 土木工事業、とび・土工工事業  
 福岡県知事 許可 (特-5)第92311号  
 令和6年2月5日から令和11年2月4日まで  
 管工事業、しゅんせつ工事業、防水工事業  
 福岡県知事 許可 (般-5)第92311号  
 令和6年2月5日から令和11年2月4日まで  
 産業廃棄物収集運搬業

産業廃棄物収集運搬業				許可項目																		
都道府県及び政令都市	積替保管		許可の年月日及び有効年月日	許可番号	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残渣	ゴムくず	金属くず	ガラスくず等	鉛さい	及び陶磁器くず	コンクリート	がれき類	動物のふん尿
	有	無																				
福岡県		○	R1.7.6 R6.7.5	04000111539	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				○	○
佐賀県		○	R4.5.15 R9.5.14	04101111539	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	
長崎県		○	R4.7.10 R9.7.9	04200111539		○	○			○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	
熊本県		○	R4.7.11 R9.7.10	04305111539		○	○			○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	

- 9) 施設の状況 運搬車両 4t強力吸引車 1台  
 4t揚泥車 1台  
 2tトラック 2台  
 4tユニック車 1台  
 Wキャブ車 1台  
 10t大型吸引車 1台  
 2t揚泥車 1台  
 3tトラック 2台

- 10) 料金 産業廃棄物収集運搬業 個別見積による

## 2. 認証・登録の対象範囲

上記の全組織及び全活動

- 1) 対象事業所 本社、糸島事業所
- 2) 事業活動 土木一式工事業  
管工事業  
産業廃棄物収集運搬業  
下水道管路施設維持管理

# 環境経営方針

株式会社テクノユースは、建設業の施工・管理において環境に及ぼす影響を深く認識し、環境との調和・共生を目指し、全社員一丸となって法令遵守のもと、自主的、積極的に、環境への取り組みを行い、環境経営の継続的改善を推進します。

1. 次の項目を重点項目として継続して取り組みます。
  - (1) 事務所・現場での、省資源・省エネルギー活動を推進し、  
二酸化炭素排出量を削減します。
  - (2) 現場で発生する廃棄物の分別を確実にを行い、建設廃棄物排出量を削減します。
  - (3) 現場から排水する水の汚染・汚濁を防止し、事務所での節水に努め、  
水使用量を削減します。
  - (4) 化学物質使用量を削減し、環境負荷の少ない物質への切り替えを推進します。
  - (5) 現場で使用する資機材等は積極的にグリーン調達に努めます。
  - (6) 環境に配慮した建設資材・建設工法への施工に取り組みます。
  - (7) 受託した産業廃棄物の収集運搬における環境配慮に取り組みます。
2. 当社の事業に関連する環境関連法規等を遵守します。
3. 地域貢献活動を推進します。

制定日 2019年 10月 1日

株式会社 テクノユース

代表取締役 脇山 一春

## 4. 環境経営目標

活動期間:2023年4月～2024年3月

毎年0.5%削減を目標にします。

環境目標	サイト区分	単位	基準年		目標			
			2022年度		2023年度 (0.5%削減)	2024年度 (1.0%削減)	2025年度 (1.5%削減)	2026年度 (2.0%削減)
			2023年1月～ 2023年3月	基準値	2023年4月～ 2024年3月	2024年4月～ 2025年3月	2025年4月～ 2026年3月	2026年4月～ 2027年3月
1. 二酸化炭素排出量の削減	全社	kg-CO <sub>2</sub>	48,412.22	193,648.88	183,966.44	174,283.99	164,601.55	154,919.10
① 電気使用量の削減	本社	kWh	1,027.00	4,108.00	3,902.60	3,697.20	3,491.80	3,286.40
	糸島	kWh	8,818.00	35,272.00	33,508.40	31,744.80	29,981.20	28,217.60
② ガソリン使用量の削減	本社/糸島	L	1,338.30	5,353.20	5,085.54	4,817.88	4,550.22	4,282.56
	現場	L	3,824.62	15,298.48	14,533.56	13,768.63	13,003.71	12,238.78
③ 軽油使用量の削減	現場	L	12,739.78	50,959.12	48,411.16	45,863.21	43,315.25	40,767.30
④ 灯油使用量の削減	現場	L	60.00	240.00	228.00	216.00	204.00	192.00
① 一般廃棄物排出量の削減	糸島	kg	501.53	2,006.12	1,905.81	1,805.51	1,705.20	1,604.90
② 建設廃棄物のリサイクル率の向上 (建設混合廃棄物は除く)	現場	%	100.00	100.00	98.00	98.20	98.40	98.60
3. 水使用量の削減	糸島	m <sup>3</sup>	147.00	588.00	558.60	529.20	499.80	470.40
4. 化学物質使用量の削減	現場	kg	0.00	290.35	275.83	261.32	246.80	232.28
5. グリーン調達の推進	現場	調達率	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
6. 省資源・省エネ型設計・施工の実施	現場	実施率	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
7. 収集運搬車両の燃費向上	現場	km/L	2.75	2.70	2.70	2.72	2.74	2.74

※二酸化炭素排出量の計算で使用した排出係数は、九州電力 2018年度の二酸化炭素調整後排出係数(0.347kg-CO<sub>2</sub>/kWh)を使用しています。

## 5. 環境経営計画 (2023年度)

### 1. 二酸化炭素排出量の削減

活動項目		部門(責任者)	日程
電気使用量削減	エアコン設定温度を決め、実行する 不用な照明の消灯	本社・糸島	6月～9月・11月～3月 4月～3月
ガソリン使用量削減	エコドライブの徹底(急発進、停止、加速の抑制) 点検・整備の実施(定期点検等) 必要時以外のアイドリングストップ、空ぶかし禁止	事務所・現場	4月～3月 4月～3月 4月～3月
軽油使用量削減	エコドライブの徹底(急発進、停止、加速の抑制) 点検・整備の実施(定期点検等) 必要時以外のアイドリングストップ、空ぶかし禁止	現場	4月～3月 4月～3月 4月～3月
灯油使用量削減	ボイラーの定期的な点検・整備、清掃	現場	4月～3月

### 2. 廃棄物排出量削減

活動項目		部門(責任者)	日程
一般廃棄物	分別によるリサイクルの推進 コピー用紙裏紙の利用	現場	4月～3月 4月～3月
産業廃棄物	分別によるリサイクルの推進 マニフェストの適正管理	現場	4月～3月 4月～3月

### 3. 水使用量削減

活動項目		部門(責任者)	日程
節水シールの貼付け表示 洗車の前に泥等を落としてから行う		糸島	4月 4月～3月

### 4. 化学物質使用量の削減

活動項目		部門(責任者)	日程
必要最小限の使用量とし、極力再利用を行う 環境負荷の少ない物質へ切り替え推進		現場	4月～3月 4月～3月

### 5. グリーン購入推進

活動項目		部門(責任者)	日程
再生材の積極的利用		現場	4月～3月

### 6. 省資源・省エネ型設計・施工の実施

活動項目		部門(責任者)	日程
CO2の排出量が少ないアルファライナー工法の推進・施工 低排ガス、低騒音、低振動型機械の使用		現場	4月～3月 4月～3月

### 7. 収集運搬車両の燃費向上

活動項目		部門(責任者)	日程
エコドライブの徹底(急発進、停止、加速の抑制) 必要時以外のアイドリングストップ、空ぶかし禁止		現場	4月～3月 4月～3月

### 8. 環境関連法規等の遵守

活動項目		部門(責任者)	日程
環境教育訓練の年1回以上の開催 環境関連法規の掲示		全社	4月 4月～3月

### 9. 地域貢献活動の推進

活動項目		部門(責任者)	日程
地域での環境活動に積極的に参加する(年1回以上)		全社	年1回以上活動

## 6. 環境経営計画に基づき実施した取組内容

### 1. 二酸化炭素排出量の削減



・節電・エアコン温度管理ステッカーの貼り付け



・不用な照明の消灯



・全車両にエコドライブ10のすすめを積載

### 2. 廃棄物排出量の削減



・コピー用紙の裏紙使用



・一般ごみの分別表示



・産業廃棄物の分別表示



・産業廃棄物の分別表示



・産業廃棄物の分別表示



・産業廃棄物の保管場所表示  
少量危険物保管場所表示

### 3. 水使用量の削減



・節水ステッカーの貼り付け

### 4. 化学物質の使用量削減



・アセトン再利用ポスターの貼り付け

今後も活動を継続・発展させたい

### 5.グリーン調達への推進



・低排ガス、低騒音、低振動型機械の使用

### 6.省資源・省エネ型設計・施工の実施



・アルファライナー工法の推進・施工

### 7.収集運搬車両の燃費向上



・収集運搬車両にエコドライブ10のすすめを積載

### 8.環境関連法規等の遵守



・環境関連法規の社内掲示

### 9.地域貢献活動の推進



・使用済み切手の回収

## 7. 環境経営目標の実績とその評価

活動期間:2023年4月～2024年3月

	単位	基準年 (2022年度)	2023年4月～2024年3月			
			目標	実績	目標達成率(%)	結果の評価
1. 二酸化炭素排出量の削減	kg-CO <sub>2</sub>	193,648.88	192,680.64	157,184.61	118.42	目標は達成できた。これからも継続していきます。
(1) 電気使用量削減						
本社	kWh	4,108.00	4,087.46	2,420.00	140.79	目標は達成できた。これからも継続していきます。
糸島事業所	kWh	35,272.00	35,095.64	30,658.00	112.64	
(2) ガソリン使用量削減						エコドライブに関しての一人一人の意識改革が行われていると思います。 しかし、工事受注量増加によりガソリンの消費量が増え未達となった。
本社・糸島事業所	L	5,353.20	5,326.43	5,525.07	96.27	
現場	L	15,298.48	15,221.99	16,213.71	93.48	
(3) 軽油使用量削減	L	50,959.12	50,704.32	36,890.00	127.24	これからも継続していきます。
(4) 灯油使用量削減	L	240.00	238.80	38.00	184.09	
2. 廃棄物排出量の削減						
一般廃棄物排出量の削減	kg	2,006.12	1,996.09	3,801.66	9.54	裏紙の利用はよく行われているが、排出量の削減には結び付かなかった。
建設廃棄物のリサイクル率向上	%	100.00	99.50	100.00	100.50	目標は達成できた。これからも継続していきます。
3. 水使用量の削減	m <sup>3</sup>	588.00	585.06	426.00	127.19	目標は達成できた。これからも継続していきます。
4. 化学物質使用量の削減	kg	290.35	288.90	201.63	130.21	目標は達成できた。これからも継続していきます。
5. グリーン調達の推進	調達率	100.00	100.00	100.00	100.00	目標は達成できた。これからも継続していきます。
6. 省資源・省エネ型設計・施工の実施	実施率	100.00	100.00	100.00	100.00	目標は達成できた。これからも継続していきます。
7. 産廃収集運搬車両の燃費向上	km/L	2.70	2.70	2.71	100.37	目標は達成できた。これからも継続していきます。

※二酸化炭素排出量の計算で使用した排出係数は、九州電力 2018年度の二酸化炭素調整後排出係数(0.347kg-CO<sub>2</sub>/kWh) を使用しています。

※削減目標達成率は、【((目標値-実績値)/目標値)+1】×100(%)で算出しました。

※増加目標達成率は、【((実績値-目標値)/目標値)+1】×100(%)で算出しました。

## 8-1. 環境経営計画の取組結果とその評価

### 1. 二酸化炭素排出量の削減

活動項目		実施状況												本年度の評価	次年度の取組内容		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
電気使用量削減	エアコン設定温度を決め、実行する 不用な照明の消灯	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	本年度は社屋移転後1年を経過し、年間の電気使用量を把握出来た。この結果を踏まえて来年度からの目標数値を策定し、二酸化炭素の排出削減に取り組む。	目標値の見直しを行い、来年度も継続して行っています。
ガソリン使用量削減	エコドライブの徹底(急発進、停止、加速の抑制) 点検・整備の実施(定期点検等) 必要時以外のアイドリングストップ、空ぶかし禁止	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
軽油使用量削減	エコドライブの徹底(急発進、停止、加速の抑制) 必要時以外のアイドリングストップ、空ぶかし禁止	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
灯油使用量削減	ボイラーの定期的な清掃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			

### 2. 廃棄物排出量削減

活動項目		実施状況												本年度の評価	次年度の取組内容	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
一般廃棄物	分別によるリサイクルの推進 コピー用紙裏紙の利用	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	裏紙の利用・リサイクルはよく取組まれているが、委託業務の増加により排出量の削減には結びつかなかった。	来年度も継続して行っています。
産業廃棄物	分別によるリサイクルの推進 マニフェストの適正管理	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			

### 3. 水使用量削減

活動項目		実施状況												本年度の評価	次年度の取組内容	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
節水シールの貼付け表示		○													取り組みの成果が出た。今後も継続していく。	来年度も継続して行っています。
洗車の前に泥等を落としてから行う		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			

### 4. 化学物質使用量の削減

活動項目		実施状況												本年度の評価	次年度の取組内容	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
必要最小限の使用量とし、極力再利用を行う 環境負荷の少ない物質へ切り替え推進		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	取り組みの成果が出た。今後も継続していく。	来年度も継続して行っています。
		△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△			

### 5. グリーン調達推進

活動項目		実施状況												本年度の評価	次年度の取組内容	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
再生材の積極的利用		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	取り組みの成果が出た。今後も継続していく。	来年度も継続して行っています。
		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			

### 6. 省資源・省エネ型設計・施工の実施

活動項目		実施状況												本年度の評価	次年度の取組内容	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
CO2の排出量が少ないアルファライナー工法の推進・施工		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	取り組みの成果が出た。今後も継続していく。	来年度も継続して行っています。
低排ガス、低騒音、低振動型機械の使用		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			

○:実施できた △:十分とは言えなかった ○:実施できた △:十分とは言えなかった ×:不十分であった

### 7. 産廃収集運搬車両の燃費向上

活動項目		実施状況												本年度の評価	次年度の取組内容	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
エコドライブの徹底(急発進、停止、加速の抑制)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	取り組みの成果が出た。今後も継続していく。	来年度も継続して行っています。
必要時以外のアイドリングストップ、空ぶかし禁止		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			

### 8. 環境関連法規等の遵守

活動項目		実施状況												本年度の評価	次年度の取組内容	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
環境教育訓練の年1回以上の開催		○													社内掲示により全員に周知・徹底出来た。	来年度も継続して行っています。
環境関連法規の掲示		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			

### 9. 地域貢献活動の推進

活動項目		実施状況												本年度の評価	次年度の取組内容	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
地域での環境活動に積極的に参加する(年1回以上)											○				11月に地域の環境美化活動に参加。使用済み切手の収集もよく行われている。	来年度も継続して行っています。
使用済み切手の収集		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			

○:実施できた △:十分とは言えなかった ×:不十分であった

## 8-2. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画(2024年度)

- ・環境経営目標は、「4.環境経営目標」に記載しています。
- ・環境経営計画は、以下のとおりです。

### 1.二酸化炭素排出量の削減

活動項目		部門(責任者)	日程
電気使用量削減	エアコン設定温度を決め、実行する 不用な照明の消灯	本社・糸島	6月～9月・11月～3月 4月～3月
ガソリン使用量削減	エコドライブの徹底(急発進、停止、加速の抑制) 点検・整備の実施(定期点検等) 必要時以外のアイドリングストップ、空ぶかし禁止	事務所・現場	4月～3月 4月～3月 4月～3月
軽油使用量削減	エコドライブの徹底(急発進、停止、加速の抑制) 点検・整備の実施(定期点検等) 必要時以外のアイドリングストップ、空ぶかし禁止	現場	4月～3月 4月～3月 4月～3月
灯油使用量削減	ボイラーの定期的な点検・整備、清掃	現場	4月～3月

### 2.廃棄物排出量削減

活動項目	a	部門(責任者)	日程
一般廃棄物	分別によるリサイクルの推進 コピー用紙裏紙の利用	現場	4月～3月 4月～3月
産業廃棄物	分別によるリサイクルの推進 マニフェストの適正管理	現場	4月～3月 4月～3月

### 3.水使用量削減

活動項目	部門(責任者)	日程
節水シールの貼付け表示 洗車の前に泥等を落としてから行う	糸島	4月 4月～3月

### 4.化学物質使用量の削減

活動項目	部門(責任者)	日程
必要最小限の使用量とし、極力再利用を行う 環境負荷の少ない物質へ切り替え推進	現場	4月～3月 4月～3月

### 5.グリーン購入推進

活動項目	部門(責任者)	日程
再生材の積極的利用	現場	4月～3月

### 6.省資源・省エネ型設計・施工の実施

活動項目	部門(責任者)	日程
CO2の排出量が少ないアルファライナー工法の推進・施工 低排ガス、低騒音、低振動型機械の使用	現場	4月～3月 4月～3月

### 7.収集運搬車両の燃費向上

活動項目	部門(責任者)	日程
エコドライブの徹底(急発進、停止、加速の抑制) 必要時以外のアイドリングストップ、空ぶかし禁止	現場	4月～3月 4月～3月

### 8.環境関連法規等の遵守

活動項目	部門(責任者)	日程
環境教育訓練の年1回以上の開催 環境関連法規の掲示	全社	4月 4月～3月

### 9.地域貢献活動の推進

活動項目	部門(責任者)	日程
地域での環境活動に積極的に参加する(年1回以上)	10 全社	年1回以上活動

## 9. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無

当社の事業活動、製品及びサービスに適用される環境関連法規等は次のとおりです。

適用される法規等	適用される事項(施設・物質・活動等)
廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)	一般廃棄物及び産業廃棄物の管理・排出 マニフェストの交付・回収・保管の適正処理
建設リサイクル法	再資源化等に関する基準の遵守
騒音規制法	敷地境界線上での騒音基準の遵守
振動規制法	敷地境界線上での振動基準の遵守
フロン排出抑制法	簡易点検の実施
浄化槽法	保守点検の実施、法定検査の実施
下水道法	排除基準の遵守
消防法	危険物の適正管理

2024年5月20日に上記の環境関連法規等の遵守状況を確認・評価した結果、違反はありませんでした。また、関係機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした。

## 10. 代表者による全体の評価と見直し・指示

### 1) 取組状況の評価

- ・二酸化炭素の排出量削減の目標は達成できた。  
本年度は社屋移転後1年を経過し、年間の電気使用量を把握出来た。  
この結果を踏まえて来年度からの目標数値を策定し、二酸化炭素の排出削減に取り組む。
- ・ガソリン使用量削減の目標は未達だった。  
受注量増加、遠方での作業による影響もあるが、アイドリングストップやナビの使用による最適なルート検索により削減に繋げたい。
- ・一般廃棄物排出量の目標は未達でした。  
本年度は委託業務の受注量増加が影響し未達となった。  
ミスプリント等を少なくし、排出量の削減に繋げて今後も取組んでいきます。
- ・今年度は目標達成できた項目が増え、二酸化炭素の排出削減目標が達成できた。  
今後も継続して取組みます。

### 2) 環境マネジメントシステム運用についての見直し結果

- ・環境経営システムの有効性は、エコアクション21を運用し5年経過したので、活動・実施体制作りは出来ているが各部門、個人の意識をさらに高めていく必要がある。
- ・環境経営方針、環境経営計画、実施体制等については、このまま継続していきます。
- ・環境経営目標については、工事受注量・車両増加、新社屋移転1年の経過に伴い再度見直しを行います。